

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する 分析・調査の計画的実施に向けた基本的考え方

（1）背景

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策を安全かつ着実に進めることは政府の最優先の課題であり、そのためには、廃炉・汚染水対策に関する分析・調査を通じて得られる新たな知見を踏まえ、廃炉・汚染水対策を継続的に見直していくことが重要である。

そして、廃炉・汚染水対策を効率的かつ効果的に進めるため、国内外の叡智の結集と活用が重要であるとともに、福島第一原子力発電所の事故を起こした我が国の国際社会に対する責任として、二国間・多国間の枠組み等による活動の中で、我が国の廃炉・汚染水対策で得られたデータ等の積極的な発信を行っていくことが引き続き重要である。

多国間の枠組み等による活動の中で、例えば、昨年 11 月に IAEA による廃炉・汚染水対策のレビューを受け入れ、今年 1 月には、幅広い国際協力をさらに発展させること、燃料デブリ等の性状把握はその取り出しの成功に寄与すること、原子炉格納容器内部の燃料デブリ等の分布をより正確に把握するための継続的な努力を支持する等の助言が IAEA よりなされている。

また、OECD の枠組みの下で、燃料デブリ分析等のニーズに関する議論が進められており、各国から、福島第一原子力発電所の廃炉を安全かつ着実に進めるために行うことを前提として、事故原因の究明や今後の原子力に関する安全性向上のための福島第一原子力発電所に関する分析・調査のニーズも整理されつつあるところ、今年の夏から国際協力による研究枠組みに関する議論が開始される予定である。

さらには、原子力規制委員会の責務である事故原因の究明等のための分析・調査も進められているところである。

以上から、今後、福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する分析・調査に関する国際的な議論が本格的に開始されることを見据えて、中長期ロードマップや機構の技術戦略プランに既に記載されている廃炉・汚染水対策の実施に向けた基本原則や基本的な考え方などを「福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する分析・調査の計画的実施に向けた基本的考え方」として分析・調査をテーマとしてまとめ、二国間・多国間の枠組み等による活動の中で発信していくこととした。

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する
分析・調査の計画的実施に向けた基本的考え方

Basic principles toward the planned analysis and investigation on the
decommissioning and contaminated water management of
Fukushima Daiichi Nuclear Power Station

(2) 基本的な考え方

- ① 福島第一原子力発電所の廃炉を安全かつ着実に進めることが最優先の課題であり、結果として、可能な限り速やかな廃炉を実現していくことが必要である。このため、福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する分析・調査を実施する必要があるが、その分析・調査は廃炉を安全かつ着実に進め得る取組みの範囲の中で実施すること。
- (i) To proceed the decommissioning of Fukushima Daiichi NPS (hereinafter referred to as “1F”) safely and steadily is of primary importance. With these efforts, it is necessary to achieve “decommissioning as soon as possible”. For that sense, the analysis and the investigation on the decommissioning and contaminated water management of 1F (hereinafter referred to as “1F Analysis and Investigation”) should be conducted, to the extent that can proceed the decommissioning in safe and steady.
- ② 一方で、福島第一原子力発電所の事故原因の究明や今後の原子力に関する安全性向上の観点からの分析・調査の実施も必要とされている。このため、福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する分析・調査は、福島第一原子力発電所の廃炉を安全かつ着実に進めるために行うことを前提として、事故原因の究明や今後の原子力に関する安全性向上の観点からの必要性を十分に考慮すること。
- (ii) At the same time, it is also necessary to proceed the 1F Analysis and Investigation from the viewpoint of ascertaining the causes of the 1F accident and improving the nuclear safety for future (hereinafter referred to as “Forensic”). Therefore, due consideration is to be given to the necessity of the 1F Analysis and Investigation from the viewpoint of Forensic, on the premise of the safe and steady decommissioning of 1F.
- ③ 福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する分析・調査は、地域の皆様、周辺環境及び作業員に対する安全確保を最優先に、現場の作業状況の厳しさを踏まえ、分析・調査の方法を具体化した上で計画すること。

- (iii) The 1F Analysis and Investigation is to be planned on the premises of realistic working situations and difficulties of the site, giving the highest priority on the safety for local residents, surrounding environment and workers. In addition, it must be proposed after clarifying the concreteness of technology commensurate with it.
- ④ 福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する分析・調査は、その分析・調査により得られる情報が、何のために使われて、何に貢献するのかを明確にした上で、その意義とそれに伴う負担を熟慮し、廃炉プロジェクトとして合理的に許容できる範囲で行うこと。
- (iv) While clarifying what is the information obtained from the 1F Analysis and Investigation used for and what will it contributes to, it must be conducted in reasonably acceptable range as 1F decommissioning project, considering its significance and the responsibility associated with it.
- ⑤ 福島第一原子力発電所の事故を起こした我が国の国際社会に対する責任として、福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する分析・調査で得られた情報の積極的な発信を行うこと。また、それを超える情報を求める機関には、相応の負担を求める可能性があること。
- (v) Taking into account of Japan's responsibility to the international society, as a country where the 1F accident occurred, information obtained in the 1F Analysis and Investigation should be provided in a proactive way. There is a possibility for institutions requesting additional information to bear a reasonable burden.



福島第一廃炉と未来について話し合おう

1FDIV

第4回 福島第一廃炉国際フォーラム

2019年6月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

第3回福島第一廃炉国際フォーラムの参加者数



フォーラム登壇者・来賓

第3回国際フォーラム フォトセッション 2018年

8月5日（日）地元の皆様と考える1F廃炉 楢葉町

613名（福島県内：414名 67.5%、海外42名 6.9%）

8月6日（月）技術専門家と考える1F廃炉 いわき市

651名（福島県内：243名 37.3%、海外64名 9.8%）

2日間の合計 1,264名（のべ）

第4回福島第一廃炉国際フォーラムの概要

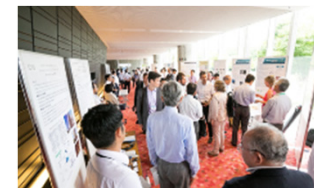
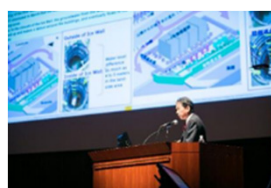
2019年8月4日（日）**地元の皆様と考える1F廃炉** 富岡町文化交流センター「学びの森」
テーマ：「1F廃炉について一番知りたいこと」
対話型ワークショップイベント&学生セッションを同日開催

第3回国際フォーラム「学生セッション」 2018年



第3回国際フォーラム「話す」セッション 2018年

2019年8月5日（月）**技術専門家と考える1F廃炉** いわき芸術文化交流館アリオス
テーマ：「地元共生と廃炉プロジェクト」
国内外からのプレゼンテーション&技術ポスターセッション



第3回の模様

フォーラム初日 プログラム概要

地元の皆様と考える1F廃炉

8月4日（日）10:30～16:30（予定）
富岡町文化交流センター「学びの森」

1 F 廃炉について一番知りたいこと



○開沼 博
総合プロデューサー & 学生セッション



○浜中 順子
対話ナビゲーター

※イメージ



「昼食」



「話す」



グラフィックレコーディング



「語り合う」

ポイント

- 1) ぼいすふるむふくしま2019
事前調査を継続。若者を中心にワークショップ形式で聞き取り。冊子としてまとめる。
- 2) 学生セッション
午前中に基本セッションと並行開催。参加者は前日から現地入りし見学など実施。
- 3) ダブルファシリテーター
総合プロデューサー開沼 博氏に加え、福島テレビの浜中順子氏を起用。

<プログラム>

【午前】

「知る」「話す」全参加型ワークショップ
「学生」セッション グループワーク発表

【昼食休憩】

地域活動ポスターセッション
「まとめる」午前中の議論を総まとめ

【午後】

「語り合う」パネルディスカッション
「結ぶ」知りたいことがわかったか確認

フォーラム2日目 プログラム概要

技術専門家と考える1F廃炉

8月5日(月) 10:30~17:45(予定)

いわき芸術文化交流館アリオス

地元との共生

- ◆ 国内外の経験
- ◆ レガシーサイトでの経験

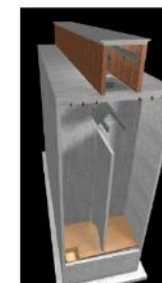
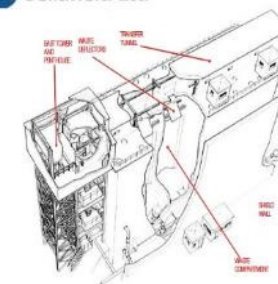


- ◆ 産業育成
- ◆ コミュニケーション
- ◆ 人材育成

◆ 廃炉プロジェクト



Sellafield Ltd



UK Sellafield

<プログラム>

【午前】

1 Fの現状報告
「地元との共生」
産業育成・コミュニケーション・人材育成

【昼食休憩】

技術活動ポスターセッション

【午後】

「地元との共生(続)」
廃炉プロジェクト

技術ポスターセッション

参加希望申込受付中

福島第一廃炉と未来について話し合おう

1FDIV

第4回 福島第一廃炉国際フォーラム
The 4th International Forum on the Decommissioning of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station

参加費無料 事前登録制 同時通訳あり

DAY1
2019年
8月4日
10:30~16:30 (予定)

会場 富岡町文化交流センター「学びの森」
福島県双葉郡富岡町大字本岡字玉塚622-1

地元の皆様と考える1F廃炉
廃炉についてオープンに「聞ける」、「話せる」、「わかる」。

DAY2
2019年
8月5日
10:30~17:45 (予定)

会場 いわき芸術文化交流館「アリオス」
福島県いわき市平字三崎1-6

技術専門家と考える1F廃炉
地元共生と廃炉プロジェクト

- 専門家によるプレゼンテーション
- 技術ポスターセッション

主催 原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)

協力機関 日本原子力研究開発機構(JAEA)、国際廃炉研究開発機構(IRID)、駐日米国大使館、駐日仏国大使館、駐日米大使館、東京電力ホールディングス(TEPCO)

後援機関 内閣府、復興庁、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、福島県、いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、福島大学、福島工業高等学校、福島民報社、福島民友新聞社、日本原子力学会、日本原子力産業協会

ホームページはこちら！
https://ndf-forum.com/

公式WEBサイト

<http://www.ndf-forum.com>



1FDIV
第4回 福島第一廃炉国際フォーラム
The 4th International Forum on the Decommissioning of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station

みなさんの声

6分でわかる第3回福島第一廃炉国際フォーラム

※第3回国際フォーラムのまとめサイトも公開中

参加希望のお問合せ

お問合せいただければ、より詳細についてご紹介させていただきます。

【お問合せ窓口】

第4回福島第一廃炉国際フォーラム事務局

TEL : 03-6774-8825 FAX : 03-6869-6194

E-mail : info@ndf-forum.com

営業時間：平日10:00-17:00 土・日曜日、祝日休業



JOSHIKAI in Fukushima

福島の科学・工学・廃炉に関する国際メンタリングワークショップ



福島をはじめとする全国的女子中高生と国内外の理工系女性研究者・技術者等との交流

開催日：2019年8月2日（金）・3日（土）
場所：福島県環境創造センター（コミュタン福島）
共催：経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)
登壇者：室伏きみ子（お茶の水女子大学 学長）他

<プログラム案>

- ◆ 8月2日（金）
 - ・室伏学長スピーチ
 - ・メンター（理工系女性研究者・技術者等）と女子中高生との少人数での対話
- ◆ 8月3日（土）
 - ・対話、グループ毎の発表



第2回JOSHIKAI（2018年8月開催）の様相